

1 血液事業の現状

本県における血液事業は、昭和39年8月献血推進についての閣議決定以来、国内の医療で使用されるすべての血液製剤を献血によって確保することを目指し、400mL献血の推進と血液製剤の適正使用に力を入れてきたところである。

血液製剤が将来にわたって安定的に供給される体制を維持する必要があることから、関係団体と連携し、献血に対する正しい理解の促進や、若年層献血者及び複数回献血者の確保等の献血運動を推進するとともに、医療機関における一層の血液製剤の適正使用の促進に努めている。

【表1 年度別献血者数】 下段（ ）内は計画目標数（16年度から策定）（単位：人）

年度	200mL 献血	400mL 献血	成分献血	合計
H28	2 (14)	145,660 (151,928)	52,534 (53,059)	198,196 (205,001)
H29	2 (5)	146,043 (145,224)	48,065 (51,466)	194,110 (196,695)
H30	6 (4)	145,968 (146,814)	52,159 (51,777)	198,133 (198,595)
R1	51 (0)	149,808 (145,077)	57,567 (57,794)	207,426 (202,871)
R2	62 (0)	148,546 (145,562)	64,262 (68,325)	212,873 (213,887)
R3	150 (0)	148,228 (146,061)	66,721 (67,974)	215,099 (214,035)

※R3年度は見込み

【表2 令和2年度年齢別・性別献血者数】（単位：人・%）

年齢	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	計
男性	6,223	18,347	24,832	41,934	40,433	18,114	149,883
女性	2,337	10,418	10,650	16,286	16,452	6,847	62,990
計	8,560	28,765	35,482	58,220	56,885	24,961	212,873
構成比 (R1年度)	4.0 (6.4)	13.5 (14.7)	16.7 (16.5)	27.4 (26.9)	26.7 (24.6)	11.7 (10.9)	100.0 (100.0)

【表3 令和2年度献血による採血量】

(単位：L)

区分	目標	実績
全血献血	58,225	59,431
小計	58,225	59,431
血漿成分献血	25,610	23,268
血小板成分献血	11,710	12,352
小計	37,320	35,620
合計	95,545	95,051